

エコアクション21

環境経営レポート

(第15版)



対象期間/2019年12月～2020年11月
2021年6月 発行

ISHIZAKA GROUP
有価物回収協業組合 石坂グループ[®]

目 次

1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	
2. 1 事業所名及び代表者氏名	4
2. 2 所在地	4
2. 3 環境管理責任者	4
2. 4 事業内容	4
2. 5 事業年度	4
2. 6 事業規模	4
2. 7 産業廃棄物関連許可事項	5
2. 8 会社沿革	6
2. 9 運搬車両の種類と台数	7
2. 10 産業廃棄物処理施設の概要	7.8
2. 11 処分場処理方式、処理工程図	9.10.11
3. 認証・登録対象範囲	12
4. EA21 組織図	12
5. 環境経営目標	13
6. 環境経営計画	14
7. グループ全体の物質収支	15.16
8. 環境経営目標と実績	17
9. 環境関連法規等の遵守状況	18
10. 地域・社会貢献	18
11. 環境管理責任者及び代表者による全体評価と見直しの結果	19

1. 環境方針

環境方針

私たち石坂グループは、リサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、業界のリーディングカンパニーとして、地域・社会の環境保全への取組みをサポートし、環境に責任の持てる企業として有益な環境活動を追及いたします。

- 1、取扱品目全般において、環境負荷の軽減、化学物質の適正管理、エネルギーの知的利用の促進、コスト削減の追及を実施し、最適な企業活動を目指します。
- 2、事業活動の定期的見直しを実施し、継続的改善・汚染の予防・環境負荷の軽減を第一に事業活動を実施いたします。
- 3、環境企業として、子供達の環境教育を積極的に実践し、施設の一般公開・情報の開示を推進いたします。
- 4、当社において、有効資源の活用・確保及びグリーン購入を推進し、最終処分廃棄物の削減、有効利用の促進につなげます。
- 5、環境関連法規及び、同意したその他の要求事項を、すべて順守し、業界のレベルアップ・モラルの向上を目指します。
- 6、この環境方針は、当組合の環境活動の指針として全従業員に周知し、関連する一般の方すべてに公開致します。



2014年 9月 1日

有価物回収協業組合石坂グループ

理事長 石坂 孝光

2. 組織の概要

2. 1 事業所名及び代表者氏名

有価物回収協業組合 石坂グループ

代表理事 石 坂 孝 光

2. 2 所在地

◆本社 〒861-8031

熊本県熊本市東区戸島町2874番地

☎ : 096 (389) 5501 FAX : 096 (389) 5502

◆西部事業所 〒860-0068

熊本県熊本市西区上代7丁目28番11号

☎ : 096 (329) 2002 FAX : 096 (329) 2003

◆大津事業所 〒869-1236

熊本県菊池郡大津町杉水3746番地

☎ : 096 (293) 0561 FAX : 096 (293) 0943

2. 3 環境管理責任者

環境管理責任者 常務理事 辻 崎 英 樹

☎ : 096 (389) 5501 FAX : 096 (389) 5502

2. 4 事業の内容

- ・一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の収集運搬業
- ・一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の中間処理業
- ・有価資源の回収・販売
- ・指定管理施設の運営

2. 5 事業年度

6月～翌年5月

2. 6 事業規模

◆資本金 7,000万円

◆年商 460,259万円（2020年5月）

◆従業員数 291名（2021年6月現在）

2. 7 産業廃棄物関連許可事項

	許可・通知・届出等		許可番号	許可の年月日	有効期限
1	一般廃棄物収集・運搬業許可証	熊本市	第18R-11号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
		大津町	第8号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
		菊陽町	第267号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
		合志市	合志市指令第76号	令和3年4月1日	令和5年3月31日
		菊池市	菊池市指令第2号	令和3年4月1日	令和5年3月31日
2	産業廃棄物収集・運搬業許可証	熊本県	第04301023165号	平成28年9月1日	令和5年8月31日
		熊本市	第08101023165号		
		福岡県	第4000023165号	平成28年7月23日	令和5年7月22日
		熊本市	第08111023165号	平成30年1月15日	令和5年1月14日
		山口県	第03500023165号	令和2年11月12日	令和9年11月11日
		佐賀県	04103023165	平成26年3月29日	令和10年3月28日
		大分県	04402023165	平成30年6月19日	令和7年6月18日
		大分市	8800023165		
		大牟田市	7801023165		
		鹿児島市	8201023165号		
		鹿児島県	04609023165号	令和1年6月27日	令和8年6月26日
3	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証	熊本県	第04351023165号	平成27年11月4日	令和4年10月16日
		熊本市	第08161023165号	平成27年8月8日	令和4年8月7日
		福岡県	04050023165	平成29年1月23日	令和6年1月22日
		山口県	第03550023165号	平成26年11月25日	令和3年11月24日
4	一般廃棄物処分業許可証	熊本市	第2-01号	令和3年3月8日	令和5年3月7日
		大津町	第34号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
5	産業廃棄物処分業許可証	熊本県	第04321023165号	平成28年2月24日	令和5年2月11日
		熊本市	第08121023165号	令和2年9月12日	令和9年9月11日
6	解体業許可証(使用済自動車)	熊本市	第20813100108号	令和1年7月1日	令和6年6月30日
	解体業許可証(使用済自動車)	熊本県	第20433200001号	令和1年7月1日	令和6年6月30日
	破碎業許可証(使用済自動車)	熊本市	第20816100108号	令和1年7月1日	令和6年6月30日
	使用済自動車の再資源化に関する法律フロン類回収業登録(戸島)	熊本市	20812100108	平成29年6月19日	令和4年6月18日
	使用済自動車の再資源化に関する法律引取業登録(戸島一部)	熊本市	20811100108	平成29年10月18日	令和4年10月17日
	使用済自動車の再資源化に関する法律引取業登録(大津事業所)	熊本県	20431200064	平成29年8月3日	令和4年8月2日
7	廃棄物再生事業者登録証明書	熊本県	廃対第1358号	平成23年2月28日	
8	熊本市リサイクル事業者認定証	熊本市	認定番号05-22	令和2年6月10日	令和7年6月9日
9	I S O 14001登録証	J S A E	J S A E 417	令和1年9月21日	令和4年9月20日
10	冷媒回収フロン事業所認定証		430022	令和1年10月1日	令和4年9月30日
11	第1種フロン類回収事業登録通知書		430007 A	平成29年2月19日	令和4年2月18日
12	解体工事業登録	熊本県	22-87号	令和2年5月19日	令和7年5月18日
13	古物商許可証	熊本県	第931280001620号	平成12年12月20日	
14	エコアクション(E A)2 1		0002032	令和1年11月28日	令和3年11月27日

[情報公開ページ <http://www.ishizaka.gr.jp>]

2. 8 会社沿革

1970~	1979年（昭和54年） 熊本有価物回収事業協同組合設立
1980~	1980年（昭和55年） 中小企業高度化資金対象事業として資源化工場開設
	1987年（昭和60年） 菊池郡大津町に大津事業所開設
	1986年（昭和61年） 「熊本有価物回収事業協同組合」から 「有価物回収協業組合石坂グループ」に組織変更。 熊本市城山上代町に西部事業所開設。
1990~	1991年（平成3年） 「空きびん・空き缶選別加工事業」新資源化工場開設
	1998年（平成10年） 「ミックス古紙選別事業」と「ペットボトル選別加工事業」 工場を建設・整備。
	1999年（平成11年） (業) 石坂グループ大津営業所を移転し、備蓄倉庫や 廃棄物処理・リサイクル処理施設を充実
2000~	2000年（平成12年） 代表理事に石坂孝光 就任。 本社社屋、古紙部門選別棟・加工棟を現在地に新築移転
	2001年（平成13年） 環境ISO14001認証取得
	2006年（平成18年） 第5次高度中小企業高度化資金対象事業として、本社第二工場を増設
	2007年（平成19年） 日本容器包装リサイクル協会より、「PETボトル」リサイクル業務受託開始
	2016年（平成28年） 環境大臣より「循環型社会形成の推進」表彰状
	2017年（平成29年） 熊本県より災害廃棄物処理事業を幹事会社として受託し運営開始
	2018年（平成30年） 熊本県より受託した災害廃棄物処理事業の終了 西日本豪雨による災害廃棄物処理復興事業に指導会社として参画
	2019年（平成31年） 熊本市指定管理事業として、東部堆肥センター運営開始 〔情報公開ページ http://www.ishizaka.gr.jp 〕

2. 9 運搬車両の種類と台数

[全保有台数]

134台

<内訳>

・キャブオーバー	30台	・ステーションワゴン	9台
・塵芥車	43台	・脱着装置付コンテナ専用車	13台
・高所作業車	2台	・ダンプ	12台
・コンテナ専用車	2台	・バン	11台
・散水車	1台	・箱型	11台

2. 10 産業廃棄物処理施設の概要

◆本社 (所在地：熊本県熊本市東区戸島2874番地1 外23筆)

(1) 設置の許可を受けている施設

施設の名称等	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力
破碎処理工業	破碎・選別	ブ・紙・木・織・ゴ 金・陶・ガ	32 t /日(8 h)
破碎・選別工場	破碎(移動式)・選別	木	276.4 t /日(8 h)
ペットボトル破碎工場	選別・破碎・洗浄	ブ	17 t /日(8 h)

(2) その他の施設

施設の名称等	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力
金属リサイクル工場	切断	ブ・木・金	68.8 t /日(8 h)
	圧縮	ブ・金	5.6 t /日(8 h)
	剥離		3.0 t /日(8 h)
	切断・分離	ブ・金	2.5 t /日(8 h)
廃自動車等解体工場	選別・解体	汚泥・廃酸・廃アルカリ ブ・油・紙・木・織 ゴ・金・陶	30台/日(8 h)
破碎処理工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ ブ・ゴ・金・陶・紙・木 織・ガ	16 t /日(8 h)
	破碎	ブ・紙・木・織・ゴ・金 陶・ガ	4.1 t /日(8 h)
びん・缶選別工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ ブ・ゴ・金・陶・紙・木 織・ガ	48 t /日(8 h)
	圧縮	金	16 t /日(8 h)
	圧縮	金	5.6 t /日(8 h)
	破碎・分級	陶	16 t /日(8 h)
ペットボトル等選別工場	破碎・選別	ブ・金	2.0 t /日(8 h)
	選別	ブ	4.0 t /日(8 h)
	圧縮	ブ	4.5 t /日(8 h)
廃蛍ランプ類破碎施設	破碎	ブ・金・陶	1.0 t /日(8 h)
破碎・減溶施設	破碎・減溶	ブ	0.96 t /日(8 h)
選別・圧縮工場	選別	ブ・紙・織	40 t /日(8 h)
	圧縮	ブ・紙・織	168 t /日(8 h)
びん・ガラス破碎・選別工場	選別・破碎・洗浄	陶	200 t /日(8 h)
機密古紙破碎工場	破碎	紙	9.6 t /日(16 h)
選別・プレス工場	選別・圧縮	ブ・紙・木・織・ゴ・金 陶	100 t /日(8 h)
選別工場	選別・圧縮・梱包	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ ブ・ゴ・金・陶・紙・木 織・ガ	48 t /日(8 h)

2. 10 産業廃棄物処理施設の概要

◆本社 (所在地：熊本県熊本市東区戸島2874番地1 外23筆)

(3) 廃棄物の保管施設

施設の名称等		施設の種類	産業廃棄物の種類	保管容量
保管施設	金属リサイクル工場	切断	プ・木・金	447.0m ³
		圧縮	プ・金	16.0m ³
		剥離	プ・金	37.0m ³
		切断・分離	プ・金	18.5m ³
	廃自動車等解体工場	選別・解体	汚泥・廃酸・廃アルカリ	
			プ・油・紙・木・織 ゴ・金・陶	18台
	破碎処理工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ	
			プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	200.0m ³
		破碎	プ・紙・木・織・ゴ	
		破碎・選別	金・陶・が	
	びん・缶選別工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ	
			プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	361.0m ³
		圧縮	金	
		破碎・分級	陶	354.0m ³
		破碎・選別	プ・金	82.5m ³
	ペットボトル等選別工場	選別		280.0m ³
		圧縮	プ	
	廃ランプ類破碎施設	破碎	プ・金・陶	8.0m ³
	選別・圧縮工場	選別		2457.0m ³
		圧縮	プ・紙・織	447.0m ³
	破碎・減溶施設	破碎・減溶	プ	3.4m ³
	破碎・選別工場	破碎(移動式)・選別	木	469.7m ³
	ペットボトル破碎工場	選別・破碎・洗浄	プ	627.0m ³
				226.0m ³
				627.0m ³
				784.0m ³
	びん・ガラス破碎工場	選別・破碎・洗浄	陶	63.0m ³
				70.5m ³
				40.1m ³
				702.2m ³
	機密古紙破碎工場	破碎	紙	35.9m ³
				10.3m ³
	選別・プレス工場	選別・圧縮	プ・紙・木・織・ゴ 金・陶	536.7m ³
				206.4m ³
	選別工場	選別・圧縮・梱包	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	378.3m ³

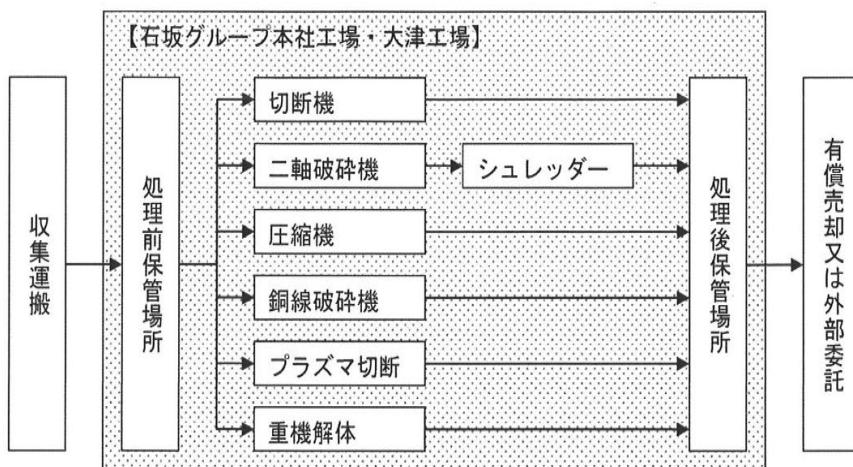
◆大津事業所 (所在地：熊本県菊池郡大津町杉水字中谷3746番2ほか)

区分	処理方法	産業廃棄物の種類	処理能力
中間処理業	圧縮	紙・織・金・プ	198.8 t /日(8 h)
	解体・選別	木・金・陶・プ	32 t /日(8 h)
	選別	紙・木・織・ゴ・金・陶・が・プ	78 t /日(8 h)
	破碎①	陶	1.0 t /日(8 h)
	破碎②	紙・木・織・プ	4.4 t /日(8 h)
	圧縮・固化	紙・木・織・プ	4.4 t /日(8 h)

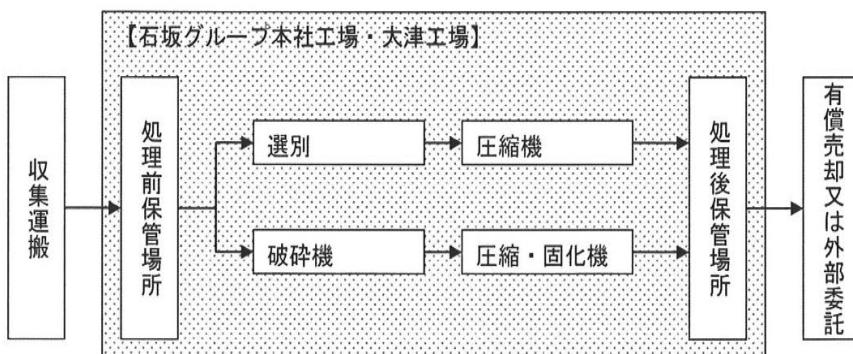
2. 11 処分場処理方式、処理工程図

有価物回収協業組合 石坂グループ 事業場内の処理工程

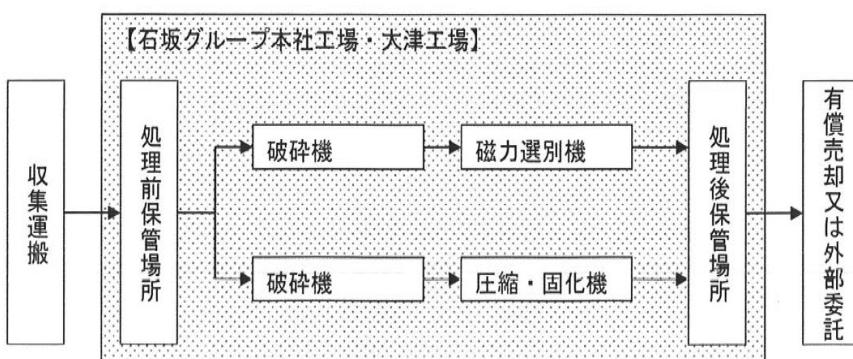
①金属くず



②紙くず



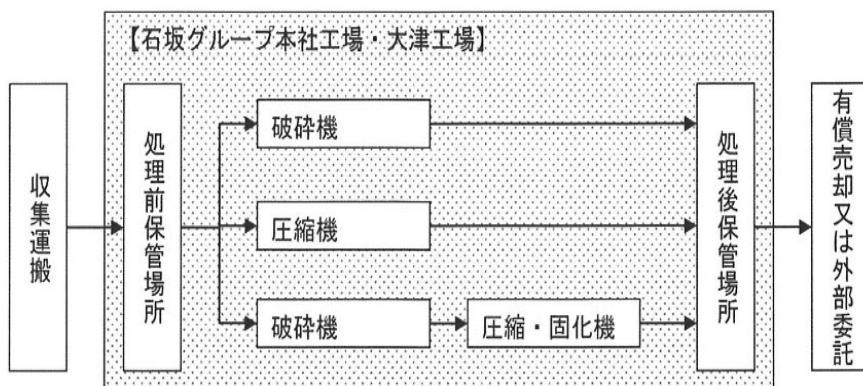
③木くず



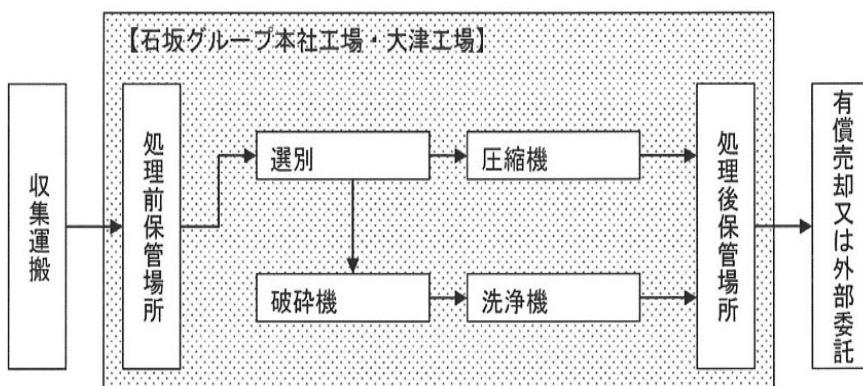
[情報公開ページ <http://www.ishizaka.gr.jp>]

2. 11 処分場処理方式、処理工程図

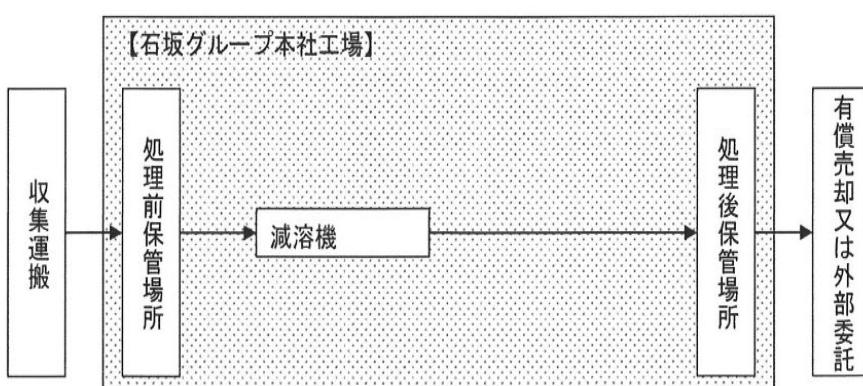
④廃プラスチック類



⑤ペットボトル（廃プラスチック類）



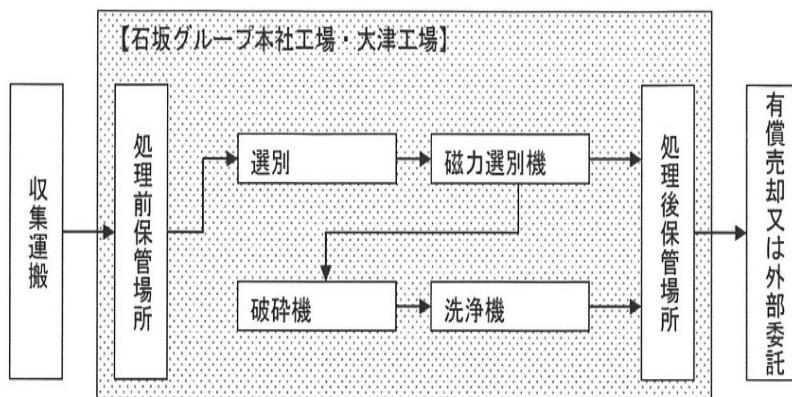
⑥発泡スチロール（廃プラスチック類）



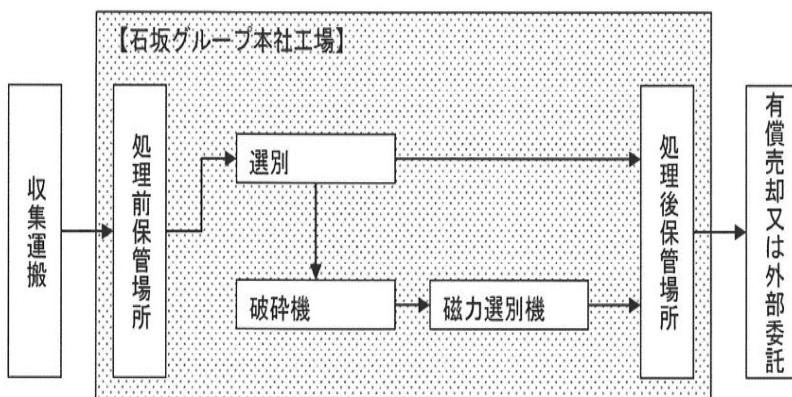
[情報公開ページ <http://www.ishizaka.gr.jp>]

2. 11 処分場処理方式、処理工程図

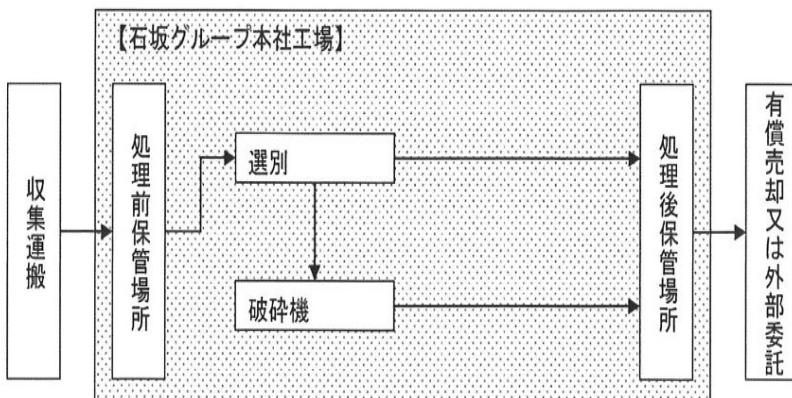
⑦ビン缶（ガラスくず・金属くず）



⑧がれき類



⑨蛍光灯（ガラスくず、金属くず、廃プラスチック類）



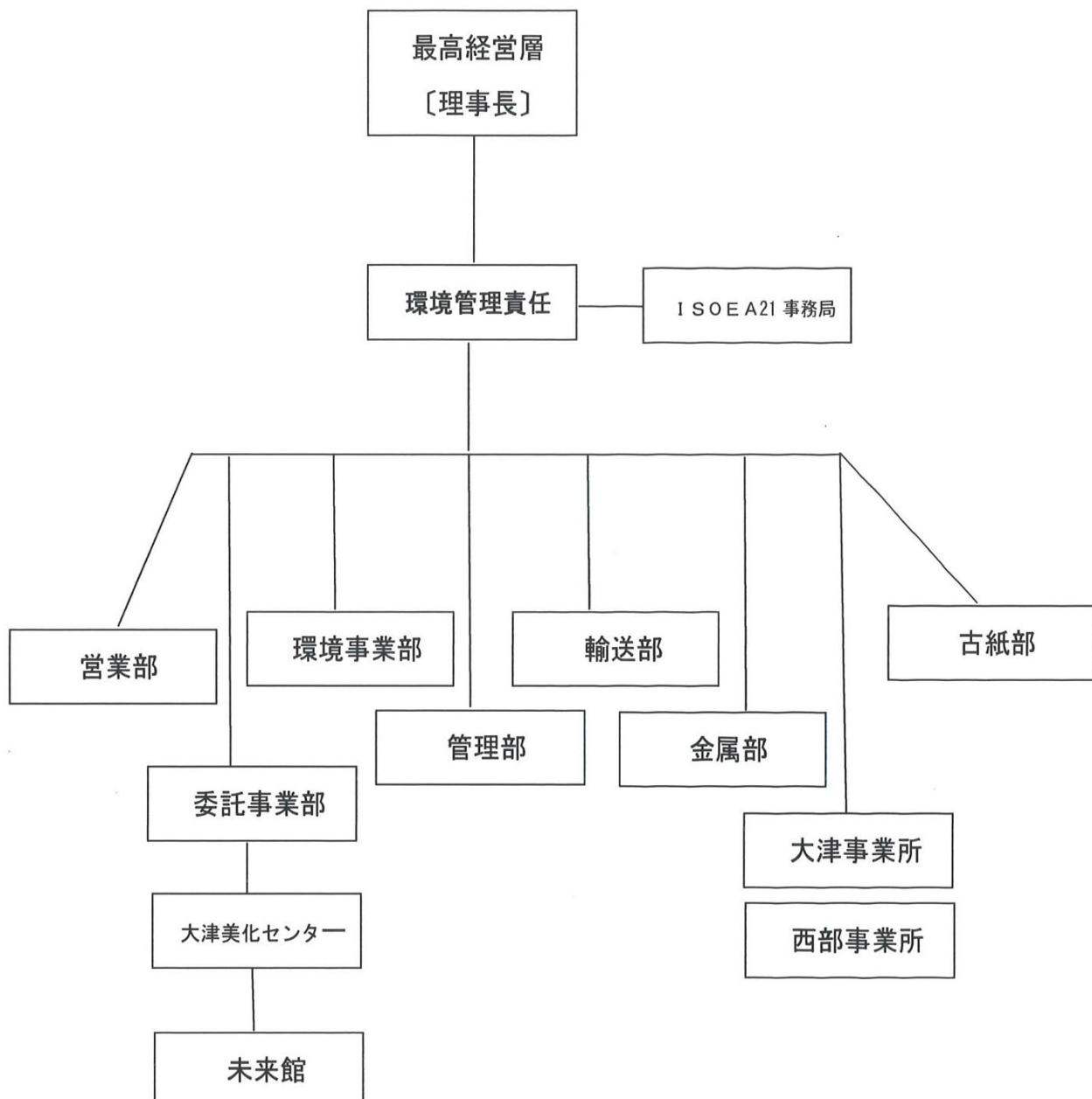
[情報公開ページ <http://www.ishizaka.gr.jp>]

3. 認証・登録対象範囲

認証・登録番号	0002032
認証・登録事業者	有価物回収協業組合石坂グループ 熊本県熊本市東区戸島町2874番地
事業活動	一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の収集運搬業、一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の中間処理業、有価物の回収・販売 指定管理施設の運営（大津美化センター・阿蘇未来館・堆肥センター）
対象事業所	本社工場、大津事業所、西部事業所

4. EA21 組織図

当組合の環境経営システムガイドラインの組織を示す。



5. 環境経営目標

中長期の環境経営目標は、2018年度実績を基準とし、下記のとおり設定しました。

項目	単位	基準	環境目標				
			2018年度	2019年	2020年	2021年	
工場の 二酸化炭素排出量	生産加工量 あたり	電気 燃料（軽油・灯油）	kg-CO2/ t	17.01 (82%以内)	17.10 (85%以内)	16.40 (85%以内)	
					8.49 (2018年度比維持)	8.49 (2018年度比維持)	
	稼働時間 あたり	燃料（重油）	kg-CO2/ h	87.80	87.80 (95%以内)	87.8 (2019年度比維持)	
					0.00306 (2%削減)	0.00306 (2019年度比維持)	
収集運搬の 二酸化炭素排出量	受取運賃 あたり		kg-CO2/円	0.00322	0.00306	0.00306	
					(2019年度比維持)	(2019年度比維持)	
水使用量	生産・加工 量 あたり		m3/ t	1.10	0.91	0.91	
					(73%以内)	(75%以内)	
廃棄物等排出量	リサイクル 率		%	95.6	95%以上 (現状維持)	95%以上 (現状維持)	
					95%以上 (現状維持)	95%以上 (現状維持)	
工場見学、体験学習者	工場見学・ 体験学習者数		人	2,448	2,300人以上	1,558人以上	
化学物質の適正使用・ 訂正管理					適正使用管理		
グリーン商品 (事務用品)	購買率		%	65	68.5 (3.5%増加)	68.5 (3.5%増加)	
					68.5 (3.5%増加)	68.5 (3.5%増加)	
関連法規の遵守					関連法規遵守		
環境方針の全従業員への 周知・一般への公開					環境方針の全従業員への周知・一般への公開		

6. 環境経営計画

環境経営目標を達成するため、環境経営計画を下記の通り設定しました。

項目		2020年度		責任部門・担当者	
工場の 二酸化炭素 排出量	生産・加工量 当たり	電気	・選別量・加工量の向上	本社工場 小井手聖	
			・加工計画の見直し	西部事業所 上村明	
			・加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施	大津事業所 小田良一	
			・L E Dへの切り替え		
	生産・加工量 当たり	燃料 (軽油・灯 油)	・力量教育の実施		
			・メンテナンスの強化		
			・稼働率のUP		
			・アイドリングストップの強化		
	稼働時間当た り	燃料 (重油)	・電力との併用の検討		
			・電力値の見える化の実施		
収集運搬の 二酸化炭素 排出量	受取運賃当た り		・収集コースの見直し	本社工場 村田勇喜	
			・荷造り講習会の実施	西部事業所 上村明	
			・引取り車両及び引取り方法の見直し	大津事業所 小田良一	
			・配車の見直し		
			・力量教育の実施		
			・稼働率のUP		
			・省燃費運転講習会の実施		
			・メンテナンス技術向上研修会の実施		
水使用量	生産・加工量 当たり		・洗車時の雨水利用の促進と使用時間の短縮	本社工場 長濱雄一	
			・漏水の早期発見		
			・雨水タンク増設等の設備改善検討		
廃棄物等 排出量	リサイクル率		・マテリアル原料化	本社工場 島田剣	
			・新規出荷先の開拓		
			・選別方法・収集方法の改善の強化		
			・R P F 原料化の強化		
			・取引先社員向けの営業展開の強化		
			・最終残さの削減		
工場見学、 体験学習者			・婦人会・老人会・子供会へのアピール	本社工場 中島葵	
			・出張体験学習		
			・工場内での安全・清掃活動の実施		
化学物質の適 正使用・適正 管理			・定期的なチェックを行う	本社工場 西聰史	
			・書類管理を徹底する		
グリーン商品 (事務用品)			・購入リストに基づく購入を行う	本社工場 長濱雄一	
			・省エネルギー基準適合製品を購入する		
環境法規の 遵守			・定期的なチェックを行う	本社工場 河野友美	
			・書類管理を徹底する		
環境方針の 周知と公開			・全従業員に環境手帳を配布	本社工場 長濱雄一	
			・正面玄関に掲示		
			・HPへ掲載する		

7. グループ全体の物質収支

◆ 工場系

エネルギー投入量 (単位 : MJ)

	電気	化石燃料	合計
本社工場	17,902,583	12,294,670	30,197,253
西部事業所	589,157	610,321	1,199,478
大津事業所	4,199,307	1,842,318	6,041,625
合計	22,691,047	14,747,309	37,438,356

水使用量 (単位 : m³)

	水使用量
本社工場	32,048
西部事業所	218
大津事業所	969
合計	33,235



中間処理

一般廃棄物	22,761.4 t
産業廃棄物	14,920.4 t
有価物	120,584.4 t
合計	158,266.2 t

※1



再資源化等量

一般廃棄物	3,464 t
産業廃棄物	6,554 t
有価物	144,734 t
合計	154,752 t

※1
※2

単純焼却最終処分

一般廃棄物	1,275 t
産業廃棄物	4,812 t
合計	6,086 t

※1

工場系CO2

総排出量

2,139,399 kg-CO2



CO2排出量

(単位 : kg-CO2)

	電気	化石燃料	合計
本社工場	903,325	826,972	1,730,297
西部事業所	28,718	41,929	70,647
大津事業所	211,888	126,567	338,455
合計	1,143,931	995,468	2,139,399

※1 入出荷のタイムラグがあるため、中間処理=再資源化+単純焼却最終処分量にはなっていません。

※2 廃棄物から再資源化されたものも含みます。

CO2の排出係数は、2019年度九州電力のCO2の実排出係数0.319kg-CO2/kwhを使用しています。

7. グループ全体の物質収支

◆ 輸送系

エネルギー投入量 (単位: MJ)

	化石燃料
本社工場	20,521,837
西部事業所	411,079
大津事業所	2,748,129
合計	23,681,045



一般廃棄物	22,624.5 t
産業廃棄物	15,676.0 t
有価物	34,926.1 t
合計	73,226.6 t

使用燃料	
軽油	589.27 kℓ
ガソリン	33.84 kℓ
BPF	0.00 kℓ
合計	623.11 kℓ

燃費	
パッカー車	4.20 km/ℓ
大型車	3.43 km/ℓ
その他	4.32 km/ℓ
合計	3.98 km/ℓ

輸送系CO2
総排出量
1,625,014 kg-CO2



CO2排出量 (単位: kg-CO2)

	化石燃料
本社工場	1,407,977
西部事業所	28,241
大津事業所	188,796
合計	1,625,014

CO2の排出係数は、2019年度九州電力のCO2の実排出係数0.319kg-CO2/kwhを使用しています。

8. 環境経営目標と実績

項目				単位	2020年度		主な環境行動計画	判定	内容
					目標	実績			
二酸化炭素排出量	工場	生産加工量あたり	電気	kg-CO ₂ / t	12.16	12.14	・選別量・加工量の向上	○	
							・加工計画の見直し	○	
		稼働時間あたり	燃料(軽油・灯油)	kg-CO ₂ / t	7.37	8.49	・加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施	○	
							・LEDへの切り替え	○	
							・力量教育の実施	○	
	収集運搬	受取運賃あたり	kg-CO ₂ / h	87.8	79.72	目標達成	・メンテナンスの強化	○	
							・稼働率のUP	○	
							・アイドリングストップの強化	○	
							・電力との併用の検討	○	
						目標達成	・電力値の見える化の実施	○	
水使用量		生産加工量あたり		kg-CO ₂ /円	0.00259	0.00306	・収集コースの見直し	○	
							・荷造り講習会の実施	○	
							・引取り車両及び引取り方法の見直し	○	
							・配車の見直し	○	
						目標達成	・力量教育の実施	○	
							・稼働率のUP	○	
							・省燃費運転講習会の実施	△	
							・メンテナンス技術向上研修会の実施	△	
廃棄物排出量				m ³	0.99	0.91	・洗車時の雨水利用の促進と使用時間の短縮	○	
							・漏水の早期発見	○	
							目標未達成	△	さらに検討必要
							・雨水タンク増設等の設備改善検討	△	
						t	・マテリアル原料化	△	国門利剣による減少
							・新規出荷先の開拓	○	
							・選別方法・収集方法の改善の強化	△	メーカークレームあり
							・RPF原料化の強化	○	
リサイクル率		リサイクル率	% 95%以上	%	96.2%	-	・取引先社員向けの営業展開の強化	○	
							目標達成	○	・最終残さの削減
工場見学・体験学習		工場見学・体験学習者数	人	2,366	633	・婦人会・老人会・子供会へのアピール	×	コロナ渦の為未実施	
						・出張体験学習	×	コロナ渦の為未実施	
						目標未達成	・工場内での安全・清掃活動の実施	○	
						-	・定期的なチェックを行う	○	
化学物質		化学物質の適正使用・適正管理			-	・書類管理を徹底する	○		
						-	・定期的なチェックを行う	○	
クリーン購入		グリーン購入	%	68.5%	72.7%	・購入リストに基づく購入を行う	○		
						・省エネルギー基準適合製品を購入する	○		
					-	・定期的なチェックを行う	○		
		環境法規の遵守			-	・書類管理を徹底する	○		
						・全従業員に環境手帳を配布	○		
					-	・正面玄関に掲示	○		
		環境方針の周知と公開			-	・HPへ掲載する	○		
						-			

本年は3項目が未達成となった。特にコロナ渦の影響により工場見学が中止となった。

次年度の目標は大幅に未達成となった工場見学は目標を変更する。

9. 環境関連法規等の遵守状況

ISO-EA21事務局及び部門長は、年1回、順法性の確認を行い、環境記録として保管しています。

問題が発見された場合は、環境管理責任者の下、是正処置及び予防処置を実施しています。

2020年度は、当社グループによる環境関連法規違反、環境に重大な影響を与える事故、訴訟はありませんでした。

10. 地域・社会貢献

11.1 工場見学・体験学習

地元知育、社会貢献活動として、工場見学や体験学習を積極的に受け入れています。

2020年度は、633名見学・体験学習者を受け入れました。

〔工場見学〕



〔体験学習〕



〔バーチャル工場見学〕

弊社ホームページよりご覧頂けます。
<http://www.ishizaka.gr.jp/>



〔廃棄物処理について〕

LINE公式アカウントよりお問合せ頂けるようになりました。



11.2 清掃活動

熊本市一斉清掃に参加しました。



また、同日に西部事業所・大津事業所の工場周辺の草取り・清掃活動を実施しております。

11.3 災害地への派遣

2020年7月より人吉地区の豪雨災害廃棄物処理に人員を派遣しております。

11. 環境責任者及び代表者による全体評価と見直しの結果

11.1 環境マネジメントシステムの現状

- ① 前回のEMSマネジメントレビューの結果は6月15日の環境会議において環境委員に対し報告し、次年度に向けての取り組みの強化と内容の変化にすぐ対応できる体制を作るよう指示しました。
- ② 環境マネジメントシステム（EMS）に関連する外部及び内部の課題は毎月一回開催の環境会議にて確認。（環境会議事録を参照。）現在は「人材育成」「コンプライアンス遵守」「作業環境の改善」
- ③ 順守義務を含む、利害関係者のニーズ及び期待に関しては、毎月一回開催の環境会議にて確認。（環境会議事録を参照。）
- ④ 著しい環境侧面に関しては、著しい環境侧面登録簿にて各部門より検出。（著しい環境侧面登録簿を参照。）
- ⑤ リスク及び機会に関しては、④同様、リスク及び機会抽出検討書にて各部門より検出。（リスク及び機会抽出検討書を参照。）
- ⑥ 環境目標の達成程度に関しては、28項目中21項目で達成予定となり、未達項目においても社内の細かい業務フローの変更等による要因が考えられるもので、随時目標の変更改定を行っています。
- ⑦ 不適合及び是正処置に関しては、委託事業部の監視測定数値について達成率が低かったため、数値の見直しおこなったところ、実務と見合った数値の抽出がおこなわれていないことが判明。3か月間、数値を取り、そちらを元に見直しをおこない、数値の再設定をおこないました。
〔別紙添付書類並びに不適合処理表参照〕
- ⑧ 監視及び測定の結果に関しましては、7項目において現状未達、うち4項目については充分評価できる数値となって、今後でも追求可能な数字ではないかと考え〔監視測定集計表参照〕
- ⑨ 法令順守状況に関しては、毎月CIS等を活用し、関係法令に関してはチェックをおこなっています。
なお、特定施設の管理についても各部門の特定施設を登録し、管理点検を行うとともに騒音・振動測定等も行っています。（法規制順守定期評価表及び法規制登録簿を参照。）
- ⑩ 内部監査〔5/28～5/29〕の結果、指摘事項6件、改善事項25件、推奨事項8件の計39件で終了しました。
（内部監査報告書等を参照。）
- ⑪ 経営資源の妥当性に関しましては、人員の確保をこの時期でも実施し、人材資源については少しずつですが見直されつつあります。その他工場プラントの改修、改善と実施され、AIの導入、各プラントのリプレースを計画しています。
- ⑫ 苦情を含む、利害関係者からの関連するコミュニケーションに関しては、処分委託先からの品質クレームが発生しています。
禁忌品といわれる処理不適物の混入によるもので、改善報告書を提出し、受け入れから選別加工までのフローを見直し対応しています。その他では排出先からの処分確認、引き取り時のお褒めの言葉など対応に対して有益なご意見を多くいただき、外部とのコミュニケーションをとる事ができました。（外部対応表を参照。）
- ⑬ 繙続的改善の機会に関しては、②及び③同様、毎月一回開催の環境会議にて課題を確認し、その都度検討をおこなっています。（環境会議事録を参照。）
- ⑭ 総括としては、環境上の取り組みは内・外のコミュニケーションも含め、ミスもありますが、うまく推進していると感じます。
内部監査の中でも有益な指摘が多く、見落としがちなものから法律上の疑問までレベルの上昇が見られます。また、この世界的な危機の中、我が会社においては相場の下落はあるものの、業務的には守られ、やはり日常の社会活動に必要な業種であることがはっきりしました。その中でなくてはならない業務として業務を止めないためにもプラントの改修・改善、予備のための機械・ヤードといろんなものを用意する必要があると考えます。

2020年6月5日 環境管理責任者 辻 崎 英 樹

11.1 全体の評価

環境経営目標の達成状況は、未達成の項目があるが正しく運用されている。
6月15日の環境会議の中がでマネジメントレビューの内容・指示を周知し、部門での今後の取り組みに対策をたてるよう指示をした。又、工場施設も一期からすると20年となるため、工場美化の推進と計画的な改修を実施することを伝えた。

11.2 見直し

目的・目標の変更：大幅に未達成となった目的・目標の変更を行う。
その他の要素：アフターコロナの中で業務・教育の実施内容を見直し、マネジメントシステムの運用がスムーズに出来るように改善をしてほしい。

2020年6月15日 代表理事 石 坂 孝 光